

愛隣館研修センターニュース 第56号

〒612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町151 2F TEL 075-621-3849 FAX 075-621-1579

E-mail :Dayservicecenter.Airin@ma2.seikyou.ne.jp 振替 01020-5-39321

編集発行所：社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター 発行責任者：平田 義

10月スタート

生活支援事業始まります！

京都市内3カ所目の障がい者生活支援事業「障がい者生活支援センター『あいりん』」が、ここ向島で10月1日より始まりました。市内に居住する障がいのある人に対し、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源活用のための支援、当事者相談や様々な情報の提供を行います。新しい事業です。暖かく見守ってやってください。

クハ「なんや、また新しいもん始まったらしいなあ！」

オハ「そや、知らんのかいな！障がい者生活支援センター『あいりん』っやって！」

クハ「うん？『あいりん』って、またややこしい名前やなあ！『愛隣デイサービスセンター』やろ『愛隣館研修センター』やろ『遊隣』やろほんで『あいりん』かいな！わかりにくいなあ！」

オハ「まあ、エエやん。」

クハ「ところで、どんなことすんねんな？その『あいりん』って？」

オハ「まあ、簡単にゆうたら何でも屋かなあ。」

クハ「何でも屋って！どうゆう意味なん？」

オハ「何でも屋ってゆうたら何でもやるんやないかえ！まあ、障がい者やその家族の人からの相談にのるんや！」

障がいを持つ当人が一番ようわかると思うもんなあ！」

オハ「それとな、うちの目玉は、バリアフリーネットワーク事業ちゅうねん。」

クハ「何なんそれ？」

オハ「あんな、障がい者って一言でゆうても、身体障がいの人もいはるし、知的障がいの人もいはるし、精神障がいの人もいはるやん。ほんで、それぞれの障がい者にとって生きにくい課題がそれぞれあると思うんやけど、それをお互いに学びあっていくことで、社会を変えていこうっていう事業なんや！」

クハ「はっはあ！エエやん！ところでその相談ってどうやってやるのん？」

オハ「基本的には電話で受け付けるねん。」

相談内容

クハ「ふーん、その相談がどんなことでもエエちゅうねんな！“うちの猫いなくなっただんです。探してください”ってゆうのもありなんやな！」

オハ「まあ、それもお話しは一応聞かせていただきますよ！でも中心になるんは、在宅福祉サービスの利用相談とか、社会資源を活用するための支援とかかなあ。」

クハ「ふーん、なんとなく役に立ちそうやなあ！ほんで、他にはどんなことすんねんや？」

オハ「後はなあ、障がいを持つ当事者の人が相談員になって相談を受けたりもするねん。」

クハ「ほう！それもなかなかエエんちゃうのん！障がい者がぶち当たっていく課題は、

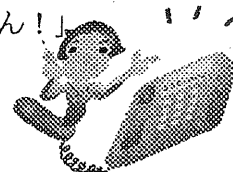
受付時間

クハ「ほんで、何時から何時までやってるのん？」

オハ「月～金までは **11:00 ~ 19:00** までで、**土曜日が 11:00 ~ 17:00** まで、日曜日と休日はお休みやねん。もし時間外で緊急に相談があれば携帯電話でも対応することになってるん。」

クハ「ふーん！なるほど！ほんでその電話番号は何番なん？」

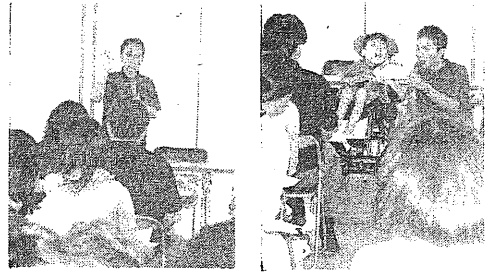
オハ「**電話番号は 604-6159** でーみんなじゃんじゃんかけてきてね！お電話 待ってるよーん！」



Topics

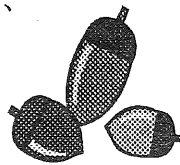
“医療・福祉・保健・教育ネットワーク in 京都”
ついに開催!

参加者 90 名。熱気あふれる集会。このネットワークを強固なものにすることで、重症心身障がい者が地域で暮らしやすくなる社会を構築しましょう。今後の動きにご注目を!



去る 7 月 18・19 日、京都市伏見区にあるめぐみホームにおいて「心神喪失者医療観察法案」の廃案を勝ち取るべく 24 時間ハンスト闘争が 29 名の決起により闘われました。(他県での自宅・職場ハンストでの参加もいただきました。愛隣館伊之保でもスタッフ 7 名が参加。)

両日とも、ハンスト決起者・支援者が大手筋商店街においてピラを手渡し、2,500 枚をまききりました。全体で採択した抗議文を小泉首相、衆議院法務委員会他関係者に送付しました。



国会での継続審議が決定したとのことですが、私たちが今回のハンスト闘争を終え、秋に向けての決意を確認しあいました。法案審議が焦点となりますが、私たち市民活動は、地元での世論づくりと共に生きる実態ををさらに進め、中央での闘いを少しでも後押しできるものになればと思っています。詳しくは <http://mamolukai.tripod.co.jp/> を!

医療観察法案成立反対!
ハンスト決行!!!

転落事故

当センターを利用されている U さんが、先日、近鉄向島駅のエスカレーター上部から、電動車いすごと転落したのです。

後ろを一人で支える駅員がバランスを崩し、駅員もろとも落っこちたのです。

駅員はかすり傷の軽傷。しかし、彼は両膝骨折の重傷で今なお入院中です。150 kg を軽く越える重量を支えて昇降することがどんなに危険なことかわからなかったのでしょうか? 人の命を守るといふ人権意識があまりにも希薄であると感じずにはおれません。

U さんは、母親による車の送迎でセンターに来館されていましたが、自立生活を目指し、ピアカウンセラーになりたいという思いもあり、自宅からセンターまで公共交通機関を乗り継いで通うことを決心し、実行した矢先の事故でした。

彼にとってエスカレーターしかない向島駅は最大の難関で、その決断は計り知れない彼の勇気そのものであり、今回の事故はその気持ちが打ち砕かれてしまったといっても過言ではないほどの出来事だといえます。

いち早く障がいを持つ人が暮らしやすい社会になることを願ってやみません。

2002年 7.8.9 月の行事

7/10 支援費学習会

全国を飛び回っておられる超多忙の谷本明広さんをお招きして、来年度より始まる支援費制度についてご講演いただきました。参加された利用者の視線が突き刺さる中、「こうなるんですよ」とおっしゃる一言一言が少しずつ不安を取り除くものとなったのはいうまでもありません。

7/16・17 BBQ

今年は浴衣美女の登場で、新しい風が吹き込み、盛り上がりましたね。

8/30 バリアフリーネットワーク

デイサービスセンターベテスタの所長、中西昌哉氏にお話していただきました。あまりのしょぼさに暴動寸前! レッドカードで出場停止者も...! もうちょっと地域に仕える福祉っていう観点をもてないんですかねえ! あ〜あ!

9/2-8 SIEA タレシナ

タイの少数民族山岳民族の村でのホームステイや HIV/AIDS に関わる活動をされている NGO 等を訪問しました。公と私の NGO、こんなにも違うものかと驚きました。体験談に興味のある方は是非連絡を!!! 国営施設は統制や管理の陰が見え隠れし、民間施設は愛情の深さが見え隠れしていたのが対症的でした。

9/21 医療と福祉のネットワーク

遠くは名古屋から 100 名近い参加がありました。

9/25 七宝焼き

アイヌモシリから“七宝焼きの達人”を招いて、みんなでキーホルダーを作ったんだよねえ〜。なまら楽しかったんだよねえ〜。



紀行

向島で自立生活をされている柏木さんの連載コラム第2弾!

柏木正行 プロフィール

京都の夏は、八咫の大蛇退治の伝説で知られる素戔鳴尊や、牛頭天王を祀る八坂神社の祇園祭の頃に始まり、大文字の送り火が消える頃に終わると云われています。

それは祇園祭のお囃子が洛中の小路から小路へと流れ、長刀鉾をはじめ、各町内が保有している鉾の組み立てが始められる頃、優勢な太平洋気団が、北方気団との闘ぎ合いに打ち勝ち、此の弧状の列島に居座っていた梅雨前線を追い払うからで、此の頃から京都は、夏本番を迎えるのでした。

祇園祭は、此処山背の地に都が移されて間もない頃、人々を苦しめていた疫病を追い払う為、八坂神社に折ったのがその始まりと云われていますが、それは毎年春に行われる上賀茂神社の葵祭や、その母が百済からの渡来人の娘高野新笠と伝えられる額武天皇を祀る平安神宮の時代祭と並び、京の三大祭り

の一つに数えられているようです。京の三大祭りの市街の基本的な骨格は、平安京の造営時に形作られ、唐の都長安をモデルにし、長方形の基盤の目のように東西南北に街路が張り巡らされたのでした。こうして一定の面積に条坊制を設け、そこに正確に建物や配置したりするには、綿密な測量と、高度な土木技術が不可欠であり、そうした平安京の造営に、当時淀川筋に住んでいた、新羅や百済などからの多くの渡来人とその子孫が携わっていたとも伝えられています。

祇園祭がクライマックスを迎えるのは、宵宵山が始まる文月の十四日の夕方から十六日の山鉾巡行まで。特に宵宵山と宵宵山は、夕方から四条通とその周辺の道路は車両の通行が禁止され、文字通り歩行者天国となった通りを、山鉾を観る為各地から馳せ参じた二十万人とも三十万人とも云われる群衆が「トンチキカン」のお囃子の音に操られ、東から西へ、西から東へと、潮の満ち引きさながらに流れるのでした。嘗ては私も何度かそうした流れに身を投じて

いました。嘗ては私も何度かそうした流れに身を投じて乗った私の目に映るライトアップされた山鉾の代わりに、舞めき合う老若男女の群衆の影であり、潮の利いた浴衣の

袖が仏頂面をした私の顔を覆うその時。

その翌日は愈山鉾巡行。長刀鉾を先頭に、月鉾など三十前後の鉾が、それぞれ八坂神社の氏子達に牽かれて四条通を練り歩くのでした。今の四条通は両側にビルが建ち並んでいますが、ビルの無かったその昔、民家の屋根より高く、金銀の彫り物や、錦の織物などで飾られた鉾は人々の称賛の的であり、町衆の心意気の現れ誇りだったに違いありません。京都の夏の風物詩といえば、やはり北は二条付近から、南は五条辺り迄の鴨川の西岸沿いに設けられる納涼床。その数凡そ七十軒とも云われる納涼床は、江戸時代の半ば、京の豪商達が鴨川の浅瀬に床几を置いて遠来の賓客をもてなしたことから始まっているようです。それで思い出すのは、その昔、夏場に我が家に一台しかなかった扇風機を独り占めしていた時、親類の人が訪ねてきた時、母は「マー坊、叔父さんが来たからこれ借りるよ」と云いながら扇風機を運び去るのでした。何時の世にも賓客を懇ろにもてなすのが美德とされて

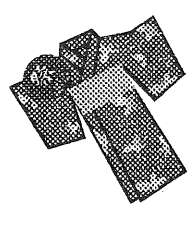
いますが、件の鴨川西岸に設けられる納涼床も、その期間中は、会社関係や、団体の予約で一杯とか。個人のポケットマネーで気軽に利用できる代物でないのも確かですが、京都盆地に溜まった昼間の暑さ付く熱気が、鴨の川面を吹き渡る夕風に変わる頃、四条大橋を西から東へとTさんが押す車椅子で帰路を辿る私の耳に、近くの納涼床から、ビールのジョッキを傾けながら談笑する人々の声が行き交う車の騒音に混じって途切れ途切れに聞こえるのでした。

文月半ばに行われる祇園祭の折、鉾の櫓の周囲や、家々の軒下につり下げられた提灯の灯が、洛中に夏の到来を告げ知らせる標であるなら、毎年葉月十六日の夜、洛中を取り巻く山々に、左大文字をはじめ、妙法や舟形を象った松明の火影が揺らぎ始めた時、人々はこの夏も終わりに近づいたことを知るはずですよ。

アメリカが地球の温暖化の防止に向けた基本的な取り組みである京都議定書から離脱し、それと関係あるかないかは判りませんが、今まで洪水とは無縁だったヨーロッパや亜細亜の各地で大河の氾濫が相次いでいるようですが、さて来年、京都はそして此の弧状の列島は

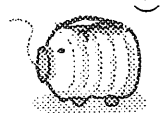
どんな夏を迎えているのでしょうか。

どんな夏を迎えているのでしょうか。



◇編集後記◇

- ▼暑い夏も終わりですね▼残り蚊の勢力に圧倒されていますが▼バイク乗りとしては束の間、気持ちいい季節なのです▼が、急な温度変化にご注意ください
- ▼体調を崩される方が・・・▼ここで問題です▼愛隣館研修センターの全事業はいくつ▼新しい事業がスタートしました▼字がつまりすぎてごめんなさい
- ▼ご意見ご感想をお聞かせ願います(さ)
- ▼ついに、障がい者生活支援事業「あいりん」が始まりました▼気が入ってききました▼障がいを持つ人とその家族の方々が生き生きと生活できる支援を目指します(ひ)



お知らせ

愛隣館研修センター2F・駐車場にて

11月24日(日)

向島

にっこい
フェスティバル

お楽しみです

主催：向島にっこいフェスティバル実行委員会

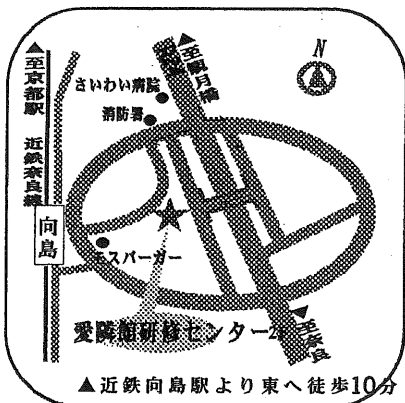
催し物

昨年大好評でした 物品バザー
売り切れ続出 模擬店
(何か出るかはお楽しみ...)

2F奥のフロアでは
ミニコンサートに
バルーンアート企画中!
交流コーナー・将棋 etc...
福祉相談窓口を開設
最後はビンゴゲームで大盛況

などなど

会場はこちら↓



▲近鉄向島駅より東へ徒歩10分

昨年より復活いたしました、「向島にっこいフェスティバル」を今年も再び、執り行いたいと思います。
今回も、地域の様々なグループの方々の交流をメインにしながら、ここ愛隣館で行われている様々な事業(愛隣デイサービスセンター・障がい者地域生活支援センター『遊隣』・重症心身障がい者通所事業「シサム」・障がい者生活支援センター「あいりん」)の活動紹介などを行いたいと考えております。同時に、福祉相談の窓口ブースも設置予定です。どうぞお越し下。

お願い...

物品バザーにご協力下さい。
食器類、タオルやシーツ等々、ご協力下さる方はまず、Tel.075-621-3849 までご連絡下さい。
よろしくお願いいたします。